

第4回会津美里町総合計画審議会 開催記録（会議内容の要点記録）

日時 平成26年12月17日（水）午前10時～午前11時30分

場所 会津美里町役場高田庁舎 第6会議室

出席委員：石光真委員 大竹勉委員 鶴賀イチ委員 遠藤秀一委員 新山諭委員
杉原由美委員 須田保子委員 武藤裕一委員 横谷光子委員 上杉述史委員
全14名中10名出席

欠席委員：千葉正秀委員 白井栄一委員 櫻井宏信委員 斎藤信子委員

事務局：まちづくり政策課長 佐々木宏光 係長 渡部雄二 担当 鈴木英哉

同席コンサルタント：(株)青島裕之建築設計室 青島（裕）、樋口

○開会 大竹副会長

○会長あいさつ

○議事

1. アンケート調査結果の詳細について

（事務局よりアンケート結果の年齢構成別回答結果等について説明）

会長 自由記述欄については、ボリュームがあるので後で目を通すとしたい。一番分かり易くまとまっているのは、重要度・満足度のグラフの部分と思われる。重要度の高いものは、行政でやるべきものが高くでている。その後に交通や子育て等がきており、健全財政も続いているのが非常に印象的、雇用の満足度が低い町政のみで解決できる問題ではないだろう。この結果等について皆様から意見・質問をいただきたい。

委員 40Pの定住あるいは戻ってくるための環境整備の部分で、若い世代の回答結果が、地元で働ける環境となっている。40代、50代でも高くなっている。人口減少への影響も大きいと考えられる。非常に重要な部分だと思うので、各委員も行政もしっかり取り組んでほしい。

会長 先ほどのグラフでも、重要度は高く、満足度は低い結果となっている。非常に難しい問題である。40代、50代でも高いのは、自分の子どもの問題になっているためと考えられる。

会長 その他の案件ですが、この後の協議案件に関わってくるため、第2回町民ワークショップの結果報告と第3回町民ワークショップの結果概要についての報告をお願いします。

(コンサルタントより第2・3回の町民ワークショップの結果等について説明)

会長 残念ながら参加できなかったが、具体的な取り組みなどいろいろ意見があり、今後、できるものできないものを取捨選択しながら計画に反映していきたい。

2. 第3次総合計画における将来像について

(事務局から将来像の候補案等について説明)

会長 方針としてはメインを短く、副題で具体的にこのことで、他にもフレーズとしていろいろ候補があるが、皆様から意見をお願いしたい。この場所で決めなくてはいけない。本審議会はそれを委嘱されている。

委員 現在避難されている方から、本町の人の心がとてもすばらしい、とてもやさしい人だと褒められた、やさしい人の心の部分を付け加えてはどうか。

委員 やさしい心もすばらしいが、人口の減少を考えると足りない。戻ってきてほしい部分をどう表現するか。

委員 A案かB案どちらかといわれれば、A案は今までと変わりなく硬い感じがする。それよりは、ふわっとしたB案の感じがいいと思う。

委員 同じくB案のほうがよい。

会長 B案のほうが覚えやすい。

委員 B案のほうがインパクトがあり、忘れないと思う。

委員 B案のほうが良いと感じるが、みんなが何に向って行くのかが見えにくい。この10年間でどうなるのかが必要。WSの検討中に、花がいっぱいになってほしいという意見があり、「花咲き人咲く会津美里」とのフレーズも出た。

委員 そういったものを含めて「まるごと」なのではないか。

会長 副題のほうで、具体的な部分を整理するのはどうか。今の副題は現在あるものとなっているので、何を指すかを追加したほうがよい。

委員 花がいっぱいなのはいいこと。町には千本桜、あやめ、菜の花などいろいろある。

会長 いろいろ意見が出された。AかBだとB案という意見が多かった。B案をベースに皆さんの意見を副題で整理し、次回の審議会で決定したい。

3. 基本構想の構成について

(基本構想の構成について事務局より説明)

- 委員 「支えあい尊重される社会の実現」という表現は硬いのではないか。
- 事務局 第2次総合計画における、「互いに支えあう社会福祉の推進」と「誰もが尊重される社会の実現」を併せたものであり、現在の表現となっている。
- 委員 アンケートでも分かり易くという意見がある。「社会の実現」という表現はやはり硬い。
- 会長 やさしい表現の副題をつけるとのことだが、副題で整理できるのか。
- 委員 重点施策に代わるものを現在検討中とのことだが、いつごろ示すのか。
- 事務局 次回審議会には示したい。
- 委員 第2次総合計画の重点施策は踏襲しないとのことだが、重点施策は設定しないのか。
- 事務局 第2次総合計画のように、各分野の6施策を重点施策とした場合、会津美里町が何を目指しているのかがぼやけてしまうため、第3次総合計画では同様の数の重点施策を設定すべきではないと考えている。
- 委員 「魅力ある地域づくり」とあるが、すべてにかかってくる言葉ではないか。
- 会長 この事務事業はどんなものがあるのか。
- 事務局 地域コミュニティ活動関係や都市交流、大学連携、定住促進等が関連している。
- コンサル 単位としては、情報・交流という部分になる。
- 会長 この部分を作っていない市町村もあるが、どこかで整理するとなると、この分類になるのではないか。現在は仮の名称なので、先ほどの意見と併せて検討してほしい。

4. その他

事務局より

次回審議会日程については未定のため、決定次第文書にて通知する。

第4回目の町民ワークショップは、次回審議会後となる予定だが、次回審議会通知に併せて連絡する。

○閉会 大竹副会長